

収益向上に雪印のホウレンソウ



アーガス117

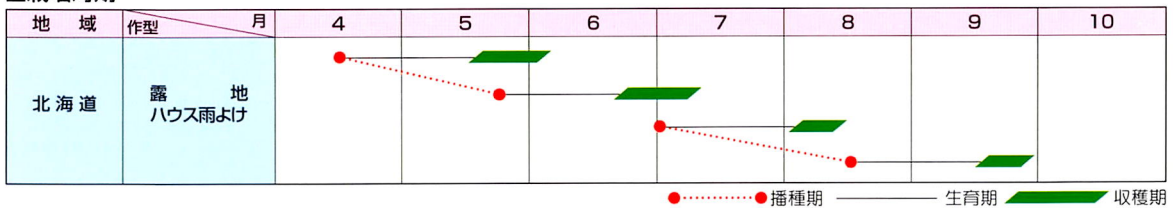
August 117

晩抽性、じっくり生育し、株張りがよい。
極濃緑で、初夏・晩夏～初秋どりに最適。

特性

晩抽性で、生育は高温期でもじっくり生育し、株張りがよい。北海道の4月中旬～5月中旬まきと7月上旬～8月中旬まきに最適。草姿はやや開張性。葉形は長円形、葉幅が広く、先端はやや尖り欠刻はない。葉は極濃緑色。べと病レース1、2、3抵抗性で、抽台は遅く、葉色、株張りに優れ、葉柄は折れにくく、収穫、調整作業は容易。品質は特によく極多収。初夏・晩夏～初秋どりの栽培で、優れた特性を発揮できる新品種。生育はやや遅いので、早播き、遅播きの栽培では保温ぎみに管理する。

■栽培時期



晩抽ジュリアス

Banchu Julius

極晩抽性、5～7月まき、夏どりに最適。
葉は濃緑色で株張りのよい豊産種。

特性

極晩抽性で生育がよい。長日・高温の条件でも抽台は遅く、株張りが特によい。青果用の播種適期は北海道・東北・高冷地の5～7月まき、加工用は北海道の5～6月まきに最適。草姿は半立性、葉は長円形で濃緑色。葉柄が立ち、葉の垂れは少ないので、収穫、調整作業が容易。葉幅は広く大葉、葉肉が厚く、株張りのよい豊産種。べと病レース1、2、3抵抗性で、夏どりに最適。品質よく市場性抜群。

■栽培時期

